

実践編 Part-3 その4

今月のお客様。

今月は恥ずかしい事に、締め切り近くになっても、モデルに丁度良いお客様が現われず・・・入稿締め切り期日がどんどん近づいてしまって・・・もう、降参。まさかこのコーナーをお休みするわけにもいかず、奥の手を使ってしまいました。

なんとなんと、当店スタッフの Megumi さんをお願いしてしまいました。

とても参考になる調整ですので、ヤラセでも、どうぞお許し下さい・・・(笑)

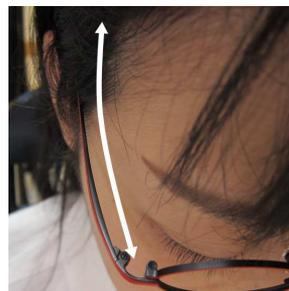


では、いつもの様に所見から

- 1、クリングスパッドの位置が高過ぎて、そのままでは目頭横に着地してしまう。5ミリぐらい下げましょう。
- 2、前傾角は許容範囲の角度だと思いますが、あと2～3度深くすると、よりベターでしょう。
- 3、 temple形状が抱え込む形状になっているので、顔側面の形状に合わせましょう。
- 4、モダンはやるゆるなので、屈折点を作り、耳介の付け根にトレースしましょう。

以上の点を特に注意しながら、調整していきましょう。

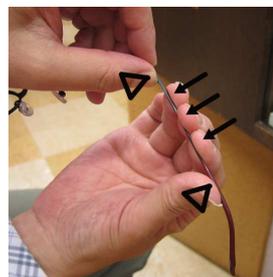
テンプル形状



まず、フィッティングに入る前に、テンプル幅、形状を考慮します。この状態で顔に乗せると、顔の側面では、モダンエンドに向かってテンションが掛ってしまいます。



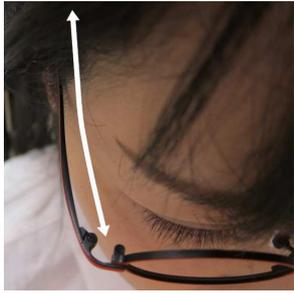
temple形状が、抱え込む様になっていますので、 temple中央あたりから直線的にしましょう。



両親指をガイドにして、右手の3本の指で、逆ぞりさせていながら、 temple形状を直線的にしていけます。



temple中央付近からモダンエンドに向かって直線的になりました。



テンプルが顔側面のテンションが分散されて、これからの調整がしやすくなりました。

○クリングスのフィッティング

パッドの形が丸型で、見た目は可愛らしいですが、丸型は、力学的には、なんらメリットがありません。通常の形に交換しましょう。



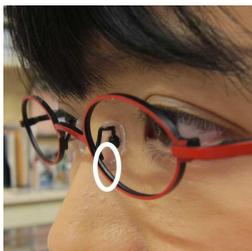
・大きさを比べてみる



長さが 1.5 倍ぐらいになりました。

クリングスパッド位置の調整

調整前



パッドの位置が、目頭の内側で、全く合っていない。フィッティングを知らないお店は、このまま（お客さんに）渡してしまうんだらうな・・・と思うと、なんかぞっとします。

5ミリぐらい下げましょう。

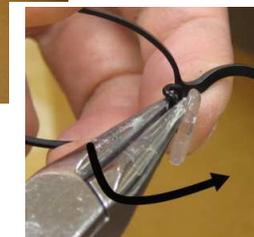
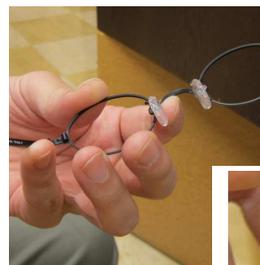
クリングス調整の手さばき



今回は、（足つき）スネークの調整ですので、ヤットコはニシムラ No.190 と No.395 をチョイスします。



クリングス足の形状が、スネークですが、リムのロー付けより直線的に上に伸びてからS字になっているタイプです。通常のスネークの調整に加えて、最初に新しい動作が加わります。



フロントをしっかり押さえて安定させます。

まず、足の箱すぐ上の直線部分を、ニシムラ No.190 で掴み、振り子のように矢印方向に回します。この動作が、通常のスネークの調整には無い動作になります。